

市町村立図書館等活動支援誌



あけぼのつうしん

No.52

2015年11月13日発行

主な内容

市町村活動支援事業～今年度の実施から～

〔目次〕

■ 運営相談

訓子府町図書館（セミナー講師）	・・・・・・・・・・	1
新十津川町図書館（修理・製本）	・・・・・・・・・・	2
市立留萌図書館（除籍・寄贈）	・・・・・・・・・・	3

■ 支援貸出し

事業貸出し～利用の様子をお伝えします！～	・・・・・・・・・・	4
大量一括貸出しのご案内	・・・・・・・・・・	6

北海道立図書館

■ 運営相談 ～今年度実施した相談の中から紹介します。～

● 訓子府町図書館（セミナー講師）



5月11日に訓子府町図書館で運営相談を実施しました。

内容は、訓子府町図書館と訓子府小学校、居武士小学校、訓子府中学校が共同で主催した「子ども読書セミナー 本はキラキラ万華鏡～本の力を生きる力に」での講話です。子どもの読書活動の現状や期待される効果、発育年齢ごとに興味を持ちそうな絵本の紹介などを行いました。

町民向けのセミナーでしたので、開催時間は夕方の18時半から20時までの時間となっており、会場も図書館ではなく、町民公民館多目的ホールでした。仕事を終えた男性（町の職員でしょうか？）や学校の教職員などの参加もありました。

プログラムは「講話」と「読み聞かせの実演とアドバイス」となっており、読み聞かせの実演とアドバイスは、町内在住の“もりやの語り屋”（絵本パフォーマー）森下智崇氏でした。森下氏は、自身も子育て中のパパで、音楽を交えて読み聞かせを行い、絵本に感情移入して楽しんでいる子どもの様子も聞かせてくれました。

また、図書館ではセミナーに合わせて「読んであげたいおすすめ絵本50選」を会場内に展示し、来場者にリストの配付を行っていました。

図書館と学校が連携して、住民向けの読書セミナー行うのは初めてのことであり、新しい学校連携の一步であるとともに、夜間の時間設定は、日中働いている方にとって、参加を検討できる設定でした。



市町村活動支援事業（運営相談）は、内容や時間も希望に応じて行える事業です。

●新十津川町図書館（修理・製本）

平成 26 年度全道図書館専門研修（資料保存）（平成 26 年 2 月開催）で行った内容をベースに、図書館の月末整理日を利用して、演習を中心とした約 3 時間の修理・製本研修を行いました。

新十津川町図書館では、簡易な補修については日常的に行われていたため、本研修では無線綴じや糸綴じの修理をテーマとし、ボランティアの方を含む、9 名の方に参加いただきました。

始めに、講義「製本に関する基礎知識と資料保存」で、修理を実施する資料決定の判断ポイント、修理の際に知っておくべき製本の種類、修理に至る前にできる予防について説明しました。

次に、「無線綴じ本の修理」について具体的な修理手順を説明しながら、演習を行いました。演習では、壊れのある本を使用し、本の分解作業や背にノコギリをいれるノコ入れ、背を固めるための麻糸・ノリ入れ作業を体験していただきました。今回の演習では行えなかった、背固めした本体に表紙をつける手順についても、各手順段階の本を準備し、見ていただくことで、不明点がないよう心がけました。

最後に、「糸を使った修理」についても具体的な修理手順を説明しながら、絵本『ミック』に見立てた A4 判の反故紙を使用して、糸かがりの演習を行いました。

研修の合間には、修理で使用する道具の紹介や、新十津川町図書館の絵本の修理についての相談を受けました。



無線綴じ本の修理



演習の様子① 本の分解作業



演習の様子② ノコ入れ作業



糸を使った修理

●市立留萌図書館（除籍・寄贈）

9月25日に市立留萌図書館で運営相談を実施しました。

今回の相談内容については「除籍について判断に迷うものがあり、現物を見ながら助言を」という趣旨であったため、資料課長を含む2名で同市を訪問しました。

市立留萌図書館は、各分野の基本書から比較的専門的な内容の資料まで広く収集しており、特に郷土資料については力を入れて収集している図書館です。

事前の聞き取りの中で、全体的に棚の狭隘化が進んでおり、大型の美術書や全集類については特に置き場の確保が難しいという相談を受け、これを元に事業を実施しました。

まず除籍資料選択のポイント、郷土資料（寄贈分）の取扱いについて説明を行い、その後現物の確認を行いました。

除籍資料については「今後の利用が見込めるか」「情報源としての役割を果たせるか」といった点が、ひとつの判断基準となります。また他市町村の除籍基準を例に、分野ごとに除籍対象となる目安の年限を設けては、と助言を行いました。



道立図書館では、市町村で除籍した資料の受入を行っています。北海道関係の資料については北方資料室、それ以外の資料は資料課が窓口となりますので、まずは寄贈の方法等について、お電話でお問い合わせください。

■ 支援貸出し

● 事業貸出し～利用の様子をお伝えします！～

事業貸出しは、大型絵本、しかけ絵本、エプロンシアター、おはなし迷路など、読書まつりやおはなし会等において、子どもたちに人気がある資料です。

図書館まつりを始め、学校・保育所・健診会場等で行う行事、ボランティア団体等が主催する行事等において、活用できます。

申込みは随時受け付けており、「事業貸出し利用案内」に詳細なリストと申込書等を掲載しています。

（「事業貸出し利用案内」は、道立図書館ホームページからもご覧いただけます。）

今年も多くの図書館図書室等でご利用いただいています。

今回は、利用の様子の一部をお伝えします！

① 【パネルシアター】 興部町図書館 事業名：さるる地区こどもひろば



利用報告書コメントから

「20名の参加があり、高学年の子も楽しんでいました。」

② 【大型絵本】 町立小清水図書館 事業名：ぬいぐるみおとまりかい



利用報告書コメントから

「おはなし会では、借り受けた大型絵本3冊を利用して読み聞かせを行ったが、みんな楽しそうに聞いていた。」

③ 【しかけ絵本】新ひだか町図書館 事業名：しかけ絵本展



利用報告書コメントから

「館内が明るく楽しい雰囲気となり、大変多くの幼児・児童が夢中になってページをめくっていた。」

●他にもこんな事業で使われています！

【大型絵本】余市町図書館 事業名：おはなしどうぶつえんであそぼう！

【しかけ絵本】奈井江町図書館 事業名：青空としゃかん

【パネルシアター】

新十津川町図書館 事業名：幼児向けおはなし会「おはなしころりんミニ」

【エプロンシアター】

栗山町図書館 事業名：平成27年度 第7回子どもフェスティバル

【紙芝居】奥尻町海洋研修センター図書室 事業名：本のよみきかせ

【大型紙芝居】清里町図書館 事業名：図書館まつり

【おはなしめいろ】白糠町公民館図書室 事業名：秋のヨムヨムフェア

【外国語絵本】豊浦町中央公民館図書室 事業名：読書週間特別展示

【しかけ絵本】東川町文化交流館 事業名：しかけ絵本でたのしもう

【おはなしの小道具】

壮瞥町地域交流センター図書室 事業名：図書フェスティバル

などなど・・・。

ご利用の際には、まず在庫確認のお電話を！
お気軽にお問い合わせ、ご利用ください。

●大量一括貸出しのご案内

大量一括貸出しは、一度にまとまった数の図書（100冊単位）を数か月程度の期間貸出し、市町村でお使いいただく事業です。お貸しする本は図書館（室）内に配架し住民への貸出しにご利用いただけるほか、学校への貸出し等にも活用できます。

大量一括貸出用図書は、児童書や生活に役立つ実用書、読み物まで幅広く取り揃えており、展示等にご利用いただくことも可能です。

なお、今年度についてはまだ10程度募集枠に空きがあります。追加実施をご希望の際は、市町村教育委員会・各教育局を通じて、企画支援課までお申込みください。

詳細については、「平成27年度市町村活動支援事業案内」をご覧ください。

【申込みの流れ】

- ① 別紙〔様式1、4〕を、市町村教育委員会を通じて、各教育局社会教育担当者へ送付

※募集及び様式のデータについては、「平成27年度市町村活動支援事業案内」をご覧ください。当館ホームページ内「図書館ポータル」の次の場所に掲載しています。

【掲載場所】図書館ポータル → 情報共有ファイル → ファイル一覧 → 道立からのお知らせ → 平成27年度北海道立図書館市町村活動支援事業

- ② 道立図書館へ各教育局から報告があり、実施決定通知を実施市町村へ送付

1 貸出案内	1
2 貸出リスト	2
1 大型絵本	5
2 しかけ絵本	5
3 エフロンシアター	10
4 パネルシアター	19
5 布絵本	19
6 おはなし通帳	19
7 読みかきおはなしの通帳	20
8 大型絵芝居	20
9 絵芝居	20
10 読へ学習支援セット	21
11 外国語絵本	26
貸出申込書	26
利用料金書	26
図書貸出し要約、貸出・返却時・閉館後等について3頁、ポータルページ等が掲載する事柄に追加で掲載します。	27

「平成27年度市町村活動支援事業案内」「事業貸出し利用案内」はホームページにも掲載しています。
(<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/publish/quinh00000003hnb.html>)

〈大量一括貸出し用図書 活用例〉



写真上：中川町中央公民館図書室 道立図書館の本コーナー
写真下：下川町公民館図書室 道立図書館の本の書架

あけぼのつうしん No. 52

発行日 平成27年11月13日
編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課
発行 北海道立図書館
〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地
TEL 011-386-8521
FAX 011-386-6906
ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

別紙(様式1)

平成27年度北海道立図書館市町村活動支援事業申込書

市町村名		
担当者	所属	
	職・氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	メールアドレス	

1 希望する事業を選択してください。(○:希望する / ×:希望しない)

I 図書館活動支援	1 運営相談事業	<input type="checkbox"/>	様式2を添付してください。			
	2 重点運営支援事業	<input type="checkbox"/>	様式3を添付してください。			
	3 図書館行事支援事業					
	(1) 事業企画支援	<input type="checkbox"/>	実施時期	第1希望 月 日	第2希望 月 日	内容
(2) 出前講座(文学館連携事業)	<input type="checkbox"/>	実施時期	第1希望 月 日	第2希望 月 日	内容	講師
					内容	
II 学校支援	4 支援貸出し事業					
	(1) 大量一括貸出し	<input type="checkbox"/>	様式4を添付してください。			
	(2) 事業貸出し	<input checked="" type="checkbox"/>	※ 様式5により随時道立図書館にお申込みください。			
III 相互協力促進事業	5 学校図書館運営相談事業	<input type="checkbox"/>	様式6を添付してください。			
	6 学校ブックフェスティバル事業					
	7 学校図書館サポートボックス事業					
8 相互協力促進事業	<input checked="" type="checkbox"/>	※ 様式7により随時道立図書館にお申込みください。(締切:11月29日・応相談)				

2 図書館(室)の概要を記載してください。

人口(単位:人)	(平成26年4月1日現在)		
資料費(単位:千円) (図書、雑誌、視聴覚資料等の総額)	H26決算(見込み)		H27予算(見込み)
個人貸出冊数(平成25年度)	総数		(うち児童書)
職員体制(単位:人)	正職員(専任)		(うち司書)
	正職員(兼任)		(うち司書)
	嘱託・臨時等		(うち司書)
改築・移転、図書館新設の計画		計画がある場合	
図書館・図書室の状況 (学校支援、ボランティア活動、他機関との連携、貸出状況やレファレンスの推移等、最近の動き・課題・予定を記載してください。)			

別紙(様式4)

平成27年度北海道立図書館市町村活動支援事業

I 図書館活動支援

大量一括貸出し

市町村名	
------	--

貸出しを希望する時期、内容等を記入してください。

	貸出月	貸出期間	配置場所、使用目的等	分野	冊数	合計冊数	来館/託送	備考
記入例	5	4か月	小学校の学校図書館、学級文庫用、公民館図書室閲覧用	実用書	0	300	託送	200冊は絵本でお願いします。
				文学	0			
				児童書	300			
記入例	6	3か月	公民館図書室内(閲覧用)	実用書	150	300	来館	実用書は、料理・手芸関係
				文学	150			
				児童書	0			
1				実用書				
				文学				
				児童書				
2				実用書				
				文学				
				児童書				
3				実用書				
				文学				
				児童書				
4				実用書				
				文学				
				児童書				
5				実用書				
				文学				
				児童書				
年借受回数	0	回		実用書	0	0		
				文学	0			
				児童書	0			